

協立福祉有限会社 (グループホームふきのとう)

「花壇」「公園清掃」
両方の自主管理で活躍中



この日は入居されているみなさん全員が集まってくれました。久しぶりの晴れ間で、みなさんもうれしそうです。

公園の入り口に立つサクラからは、次から次へと葉っぱが落ちてきます。落ち葉の掃除が大変なこの時期ですが、みなさんは「春にはきれいな花、夏にはちょうどよい日陰、冬は暖かい日差しが差し込んでくるので、この木があってよかったです」と話してくれました。

清掃活動を終えると、お茶を飲んで休憩した後、歌をうたったり体操をしたりして過ごすそうです。公園にいと、近所の方とも交流があり、みなさんの刺激になっているそうです。

みなさんが管理している花壇。色鮮やかできれいですね。



この日は、ゴミ袋が3袋と
缶が数個集まりました。



「グループホームふきのとう」のみなさんは、平成23年から清掃活動と花壇管理活動を始められ、今年で5年目を迎えます。「グループホーム」とは、正式には「認知症対応型共同生活介護」といい、医師により認知症と診断を受けた方が少人数で家族のように暮らす家のことをいいます。「グループホームふきのとう」は、そのひとつです。

入居者の方とスタッフの方が、一緒に料理や掃除、洗濯などをして生活しています。月に数回、ボランティアの方と一緒に公園の清掃やお茶会などを行っているそうです。

これからも、楽しみながら自主管理活動を続けていきたいと思ひます。

撮影日 2017年9月11日
撮影場所 舎人一丁目児童遊園